

編集方針

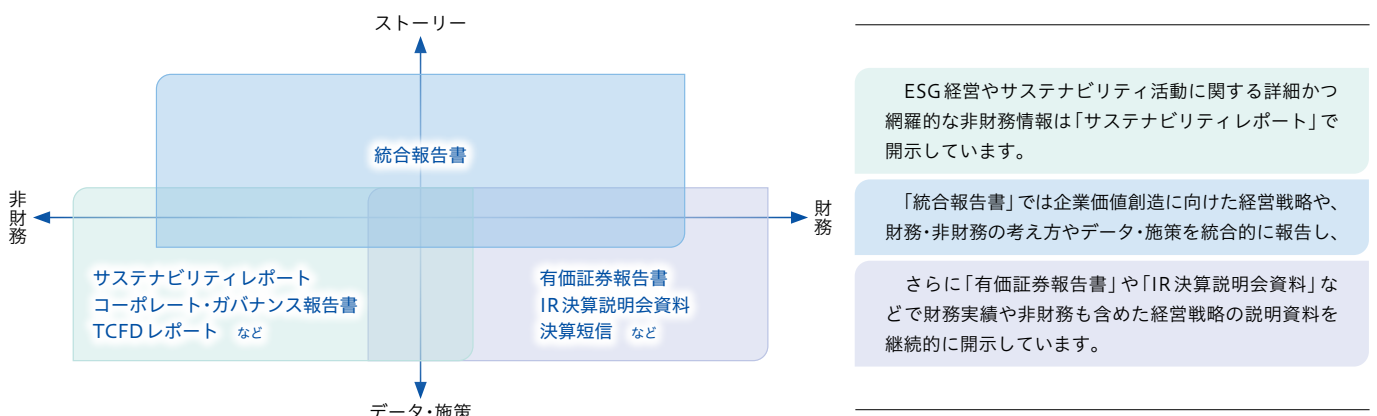
編集方針

- ・積水化学グループ（以下、当社グループ）発行の「サステナビリティレポート」では、当社グループがサステナブルな社会と当社グループの持続的な成長のために実施する活動に対する理解を深めていただくことを目的に、関連するさまざまな取り組みをステークホルダーの皆様にお伝えしています。
- ・長期ビジョン「Vision2030」のもと、サステナブルな社会の実現に向けて、LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造するため、ESG経営を強化していく必要があると考えています。そして、当社グループのESG経営における重要課題（マテリアリティ）を「ガバナンス（内部統制）」「DX」「環境」「人的資本」「融合（イノベーション）」と定め、これらを軸に本レポートを構成しています。
- ・掲載情報は、各種の報告書作成ガイドラインなどを参考に、社内外のアンケートや第三者からのレビューなどを踏まえ、社会にとっての重要性と当社グループにとっての重要性の両方を考慮し、決定しています。
- ・「サステナビリティレポート2023」の読者として、ESG評価機関および長期投資家をはじめとした、当社グループに関わりあるすべてのステークホルダーを想定して編集しています。
- ・この「サステナビリティレポート2023」は、情報の網羅性と読みやすさを両立させるため、当社グループのサステナビリティに関するすべての情報を当社Webサイトに集約させています。なお、PDF版とHTML版の2種類があり、PDF版では第三者機関による保証を受けた2023年3月31日時点の情報を掲載し、HTML版では2023年4月1日以降、必要に応じて情報を更新、追加していきます。
- ・報告している主要パフォーマンス指標の算定基準は、各パフォーマンスデータの後にまとめて記載しています。
- ・「サステナビリティレポート2023（PDF版）」に掲載している環境・社会情報は、信頼性確保のため第三者機関による保証を受けており、その対象となる情報については、を記載しています。
- ・「サステナビリティレポート2023」の本文中の現中期経営計画は、2020年度から2022年度までの「Drive2022」を、次期中期経営計画は2023年度から2025年度までの「Drive2.0」を指します。また、次期中期経営計画においては重要課題（マテリアリティ）のうち「人材」を「人的資本」とし、「融合」を「融合（イノベーション）」としました。

参考にしたガイドラインなど

- ・GRIスタンダード
- ・環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」「環境報告ガイドライン（2018年版）」
- ・ISO26000（社会的責任に関する手引き）
- ・国連グローバル・コンパクトの10原則

積水化学グループの情報開示体系



報告対象範囲

本レポートの報告対象範囲

対象組織：事業活動の主要をなす事業所を中心とした積水化学グループの活動を基本としています。
 対象期間：2022年4月～2023年3月（活動内容は一部期間外のものも含まれます）
 発行日：2023年7月（前回報告書発行2022年7月/次回発行予定2024年7月）

第三者保証対象範囲について

「サステナビリティレポート2023（PDF版）」に掲載している環境・社会情報については、第三者機関による保証を受けており、その対象となる情報については、を記載しています。なお「独立した第三者保証報告書」は、第三者保証報告書掲載のページからご覧いただけます。

免責事項

「サステナビリティレポート2023」には「積水化学工業株式会社とその関係会社」の過去と現在の事実だけでなく、発行時点における計画や見通し、経営計画や経営方針に基づいた将来予測が含まれます。今後の諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象がこの予測とは異なったものとなる可能性があります。また、記載の表やグラフの数値は四捨五入などして表記してあるため、合計値と異なる場合があるほか、集計範囲の拡大、算出方法の見直しおよび環境負荷係数の改定にともない、一部過年度データを修正している項目があります。

表紙の図について

積水化学グループでは「サステナブルな社会の実現」と「当社グループの持続的な成長」の両立の実現を目指し、その鍵となる「①際立ち」「②社会課題解決」「③未来につづく安心」の3つのステップを、ステークホルダーとともに着実に実践しております。



ESG経営概念図